平穏裡ニ午十時閉会 散会後二十余名ハ川徳ナル会地劇場ニ残座シ
会場演説会ヲ開催セシ趣ハ既報ノ如クナルガ外来者二十三名ヲ以テ
発言文ノ会長ニ詰寄シ且ツ会ヲ撹乱セントシテ撹乱セントシタルカ為メ一時騒
然トナセシ所ヒ会ノ運動ハ益上ノ如ク再ビ悟衆ヲ生セシメタルモ
川北電気ニ在リテハ之ニ対シテハ此ニ飢餓ナカンヲ策セ評議会一派ノ
暴露戦術トシテ他党排撃運動ト見ルナキ性質ノモノナリ

川北電気に於ても又も実行す　（原文のまゝ）

人の労働者の犠牲は全労働者階級の問題である。

川北電気製作所の争議を憶れしめろ、

八時間労働制を日本で始めて獲得したのは川北造船所であった又初めて
争を三文の価値もない様にすることを初めたのも川北造船所であった
今やまた実験の電気製作所川北工場では此の川北の例を其の儘百七十余名
の職工者に繋がせぬ北陸から鉄道をつかって解雇せんとした、彼等は全
聯盟旗以来資本家の共同産業の一手として産業の合理化政策は窮乏に
急速に川北その本来の事業に労働者は街頭に投げ出され賃銀は低下し
労働時間は延長され、しかし労働は極度に激烈化し牛馬の如くこき使はれ全
労働者階級の生存権は極端におびやかされて居る

見よ！

藤永田造船所に於ては賃金値下げ時間延長を、大阪鉄工所に於ても一時間

財團法人 協調會
法人 協調會